

VI-164

電子ファイリングシステムの活用について

(株)フジタ 正会員 小谷 勝昭

(株)フジタ 正会員 ○三嶋 全弘

1. はじめに

最近、各企業では空間コストの上昇から各種資料の保管スペースの問題が生じている。また、情報の有効活用を図るべく様々なO A機器の導入、情報システムの開発がなされている。筆者の属する建設業では、検討書の類や図面などの不定型で嵩ばる一次資料が多く、情報の整備が急がれている。

一方、情報処理機器の発展に目を向けてみると、記録媒体として光磁気ディスクを使用した電子ファイリングシステムなどが出現し、情報の収録、活用形態に著しい変革が見受けられる。

そこで、本システムの導入企画、運用に携わってきた担当者として、システム活用方法に対する若干の考察を行う。

2. 導入目的

本システムの記録媒体である光磁気ディスクの最大の特徴は情報の記録容量が一般の磁気ディスクに比べてずば抜けて大きく、文字情報ばかりでなく写真や図面なども記録しておくことが可能であるということである。そこで以下の目的をもって機器の導入を図った。

- ①保管スペースを大幅に削減する。
- ②ファイリングシステムが持っている高速検索機能、多元的な検索機能を使うことにより、情報提供の質的向上を図る。
- ③部署単位、あるいは個人単位で保有している情報を一元管理することにより、情報の共有化を図り、情報の有効活用を推進する。

3. システムの活用のための諸施策

現在、様々な企業で情報の整備、有効活用を目的として種々のO A機器が導入されている。立派なシステムを構築し、十二分に活用されている企業は枚挙に暇がないだろうが、一方においてO A機器は導入したものの一向に活用の実績が上がらない企業もかなり多いようである。筆者等は前記の目的を達成させる為、以下の諸施策を実施した。

(1) 推進担当者の選出及び教育

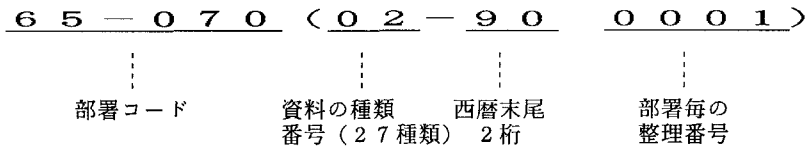
導入当初は本社の土木部門での推進を考え、部署ごとに積極的に活用を図ることをねらいとして、部署単位に活用推進担当者を選出した。その担当者を対象として、操作教育を行い、担当者を中心とした活用推進を図った。こうしたことにより、情報システム部門を中心とした活用推進体制が確立できた。

(2) 統一キーワード項目の設定

情報の共有化、活用を実現する為には各部署共通のキーワード項目が必要である。前記各部署の担当者をメンバーとしたワーキンググループによる統一キーワード項目の抽出、検討作業を行い、各部署のコンセンサスを得た統一キーワード項目を選定した。

(3) キーワード項目自体の工夫

建設企業で扱う書類としては、技術分野の情報が比較的多い。そこで技術的な情報のキーワード項目としては当社で以前より使用している「技術分類コード」を採用し、技術情報におけるコード体系の統一を図った。また、一つのキーワード項目自体に複数の情報項目を格納し、多元的な検索を可能とした。キーワード項目の一つ「登録番号」の例を図-1に示す。



図－1 キーワード項目「登録番号」の構造

（4）既存キーワードデータの利用

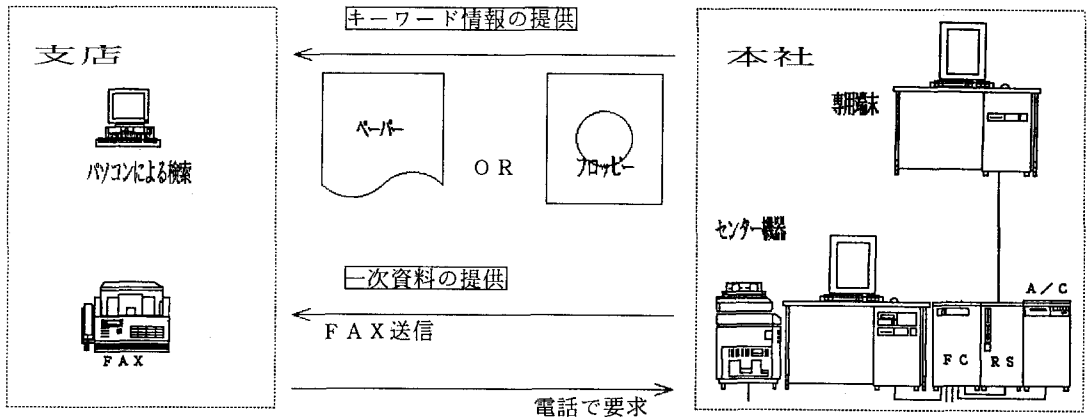
当システムに登録する書類の中には、既にそのキーワードだけをパソコン等のデータベースで管理しているものもある。そこでこれらの書類の登録に際しては、データベースのキーワードデータを活用し、キーワード入力の特略化を図っている。

（5）キーワード情報の提供

登録された貴重な書類の積極的な活用を図るために、登録された書類のキーワード情報を定期的に各部署、支店に配布している。配布方法としては、キーワード一覧を紙の媒体で配布する方法と、キーワード検索がパソコン等で手元できるようにフロッピー渡しの二つの方法を採用している。図－2 に本システムの情報提供概念図を示す。

（6）フローア毎の専用端末設置

本社内土木各部署の利用者が手軽に情報を検索し、一次資料が得られるように、本社ビルの階単位に専用端末を設置した。支店、作業所ではほしい書類の検索を紙の一覧、あるいはパソコンで行い、本社に連絡を取り、郵送あるいはFAXを使い、一次資料を得ている。



図－2 本システムの情報提供概念図

4. あとがき

機器導入後4年目の現在、その収納量は表－1に示すように書類数6290、総頁数24万頁のボリュームに達した。引き続き当システムを使った情報の整備、活用を推進してゆくとともに、今後は通信回線の高速化、低価格化の動静を観ながら大型計算機を介したキーワード検索及び一次資料の自動FAX送信等も考え、より使いやすいシステムへと発展させたいと考えている。

統一キーワード体系名	文書数
土木本部共用	3, 800
VE実施報告	2, 400
土木保有技術報告	90
計	6, 290

表－1 収納書類数